












平成31年1月22日

逗子市議会議長 高野 毅 殿

逗子市議会議員

	岩宮年治	
同	橋爪明子	
同	田中英一郎	
同	田幡智子	
同	高谷清久	
同	加藤香子	
同	中西直美	
同	白坂祐二	
同	根本祥子	
同	松本寛	
同	飯山圭一	

逗子市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第112条第2項及び逗子市議会会議規則（昭和43年逗子市議会規則第3号）第14条の規定により、別紙のとおり提出する。

(別紙)

逗子市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

逗子市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例（平成20年逗子市条例第15号）の一部を次のように改正する。

附則に次の1項を加える。

（平成31年度における議員報酬の特例）

- 7 平成31年4月1日から平成32年3月31日までの間における議員報酬の月額は、第2条の規定にかかわらず、議長にあつては514,900円、副議長にあつては457,900円、議員にあつては417,050円とする。ただし、第5条に規定する期末手当の額の算定の基礎となる議員報酬の月額については、第2条に規定する額とする。

附 則

この条例は、平成31年4月1日から施行する。

(提案理由)

市の厳しい財政状況を鑑み、引き続き議員の報酬について減額措置を講じるに当たり、改正の要あるため提案する。